

令和6年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名
茨城県

行事名称	文化財防火デーに伴う笠間稲荷神社防災訓練
実施期間・日時	令和7年1月24日（金） 13：30～14：30
実施場所	笠間稲荷神社 境内（茨城県笠間市笠間39番地）
主催者	笠間稲荷神社

■実施内容

訓練の想定

地震により笠間稲荷神社拝殿東側付近で火災が発生し、風にあおられ拝殿及び西側・社務所へ延焼拡大した。重要文化財笠間稲荷神社本殿に延焼する恐れがあると想定し、拝殿への放水を実施。

訓練の内容

笠間稲荷神社職員による火災発見、通報、初期消火、職員及び参拝者の避難・誘導訓練を実施。笠間消防署、笠間市消防団第12分団及び放水銃による拝殿への放水訓練を実施。併せて消火器の取扱訓練を実施した。

参加者及び役割分担

- 笠間稲荷神社職員（26名）：119番通報、避難・誘導訓練、消火器取扱訓練
- 笠間市消防本部（4名）：訓練指導、講評
- 笠間消防署（7名）：全体統括、放水訓練
- 笠間市消防団第12分団（5名）：放水訓練
- 笠間市教育委員会（2名）：現場立会い、記録

特に工夫した点

消防署及び消防団による放水と併せて、笠間稲荷神社自衛消防隊による放水銃を使った放水訓練を実施した。

問題点・課題

地震による火災発生を想定したが、単なる火災発生による避難訓練になってしまった。様々なケースを想定し、日頃から備えておくことが必要である。

その他

文化財防火デーに合わせて防災訓練を行うことで、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要である。

訓練風景

別紙のとおり



